

スーパーマーケット景気動向調査

2016年8月調査結果（7月実績）
（2016年8月23日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は小幅に改善も、見通し判断は前月と変わらず

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+1.1の45.2とやや改善をみせたが、見通し判断は前月と変わらず42.3となった。

経営動向調査は、売上高DIが-2.9（前月比+1.8）、収益DIは-3.6（前月比+2.3）とやや持ち直しをみせた。土日が一回多い曜日めぐりを追い風に来客数DIが-6.9（前月比+4.4）と上昇したことが支えとなった。仕入原価の落ち着きにより、販売価格DIは前月とほぼ変わらない水準で推移している。

カテゴリー動向結果では、来客数の増加を背景にすべてのDIが前月に比べプラスとなっている。果物類が好調であった青果DIが+4.1（前月比+5.8）、惣菜DIが7.1（前月比+4.3）と持ち直しをみせた。畜産DIや水産DIはマイナスであるが、気温の上昇により涼味商材が好調な日配DIや一般食品DIはプラスとなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、景気判断DIの現状判断が小幅に改善したほかは、総じて前月から横ばいの推移となっている。そのため長期トレンドに大きな変化はなく、現状判断、見通し判断共に下降傾向の継続が示唆されている。（周辺地域景気動向DI 長期傾向参照）

仕入原価や販売価格の落ち着きをみせるなかで、客単価上昇による売上増の好循環が影をひそめている。そのため好調な販売動向にも関わらず、景況感の改善には至っていない。特に先行きについては引き続き不透明との判断が支配的となっている。次月以降、見通し判断DIに底打ちがみられるかどうか、動向を注視したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI

当月：45.2 (+1.1)
前月：44.1

消費者購買意欲DI

当月：45.3 (-0.2)
前月：45.5

周辺地域 競合状況DI

当月：41.9 (-1.2)
前月：43.1

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：45.4 (+0.1)
前月：45.3

見通し判断

景気判断DI

当月：42.3 (±0)
前月：42.3

消費者購買意欲DI

当月：43.6 (-0.2)
前月：43.8

周辺地域 競合状況DI

当月：39.6 (-0.7)
前月：40.3

店舗周辺地域 景気判断DI

当月：44.6 (-0.7)
前月：45.3

経営動向調査 経営状況

売上高DI

当月：-2.9 (+1.8)
前月：-4.7

客単価DI

当月：2.4 (-2.2)
前月：4.6

来客数DI

当月：-6.9 (+4.4)
前月：-11.3

収益DI

当月：-3.6 (+2.3)
前月：-5.9

販売価格DI

当月：1.1 (-0.6)
前月：1.7

生鮮品仕入原価DI

当月：4.8 (-0.5)
前月：5.3

食品仕入原価DI

当月：4.4 (+1.1)
前月：3.3

カテゴリー動向

青果DI

当月：4.1 (+5.8)
前月：-1.7

水産DI

当月：-3.8 (+2.4)
前月：-6.2

畜産DI

当月：-2.8 (+4.1)
前月：-6.9

惣菜DI

当月：7.1 (+4.3)
前月：3.1

日配DI

当月：2.9 (+1.3)
前月：1.6

一般食品DI

当月：2.1 (+3.1)
前月：-1.0

非食品DI

当月：-3.7 (+1.9)
前月：-5.6

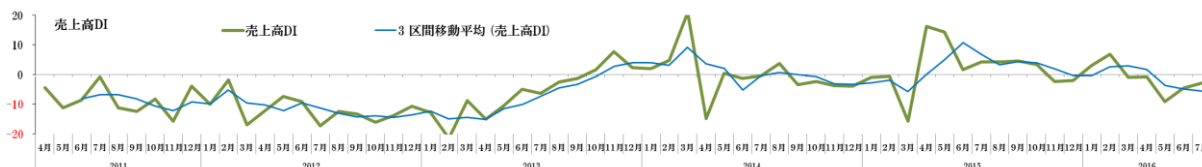
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

8月調査（7月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

3ヵ月連続のマイナスを記録するも底堅く推移

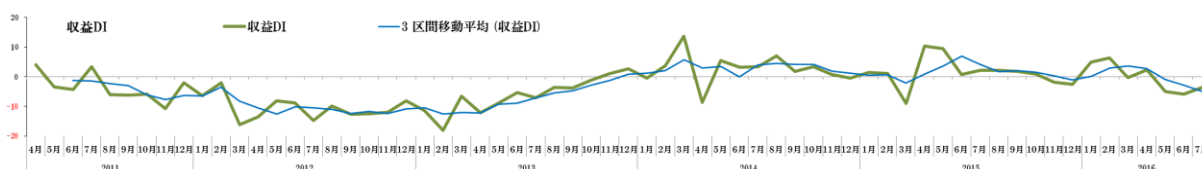
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	4.4	33.5	39.9	20.7	1.5	-4.7
売上高（当月）	6.3	29.7	35.9	25.5	2.6	-2.9



2. 収益DI

3ヵ月連続のマイナスを記録するも底堅く推移

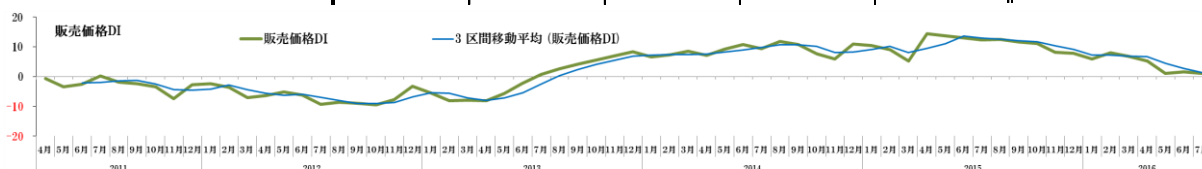
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	7.6	31.8	38.4	21.2	1.0	-5.9
収益（当月）	6.9	29.3	39.4	20.2	4.3	-3.6



3. 販売価格DI

わずかにプラス圏を維持も、ゆるやかな下降傾向が継続

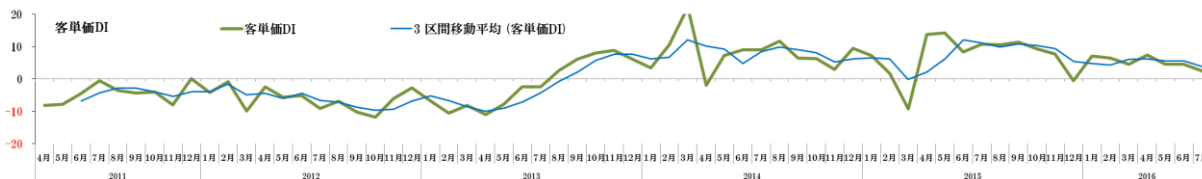
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	13.9	65.2	20.9	0.0	1.7
販売価格（当月）	0.0	13.7	68.9	16.8	0.5	1.1



4. 客単価DI

わずかなプラス圏を維持も、ゆるやかな下降傾向が継続

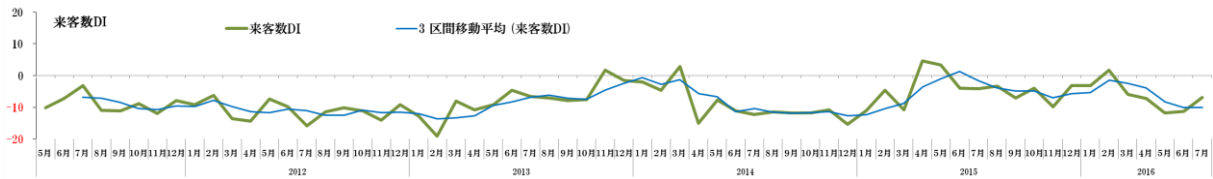
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.0	13.9	54.5	31.2	0.5	4.6
客単価（当月）	0.5	21.5	46.1	31.9	0.0	2.4



5. 来客数 DI

引き続きマイナス圏で推移も、当月はやや上昇をみせる

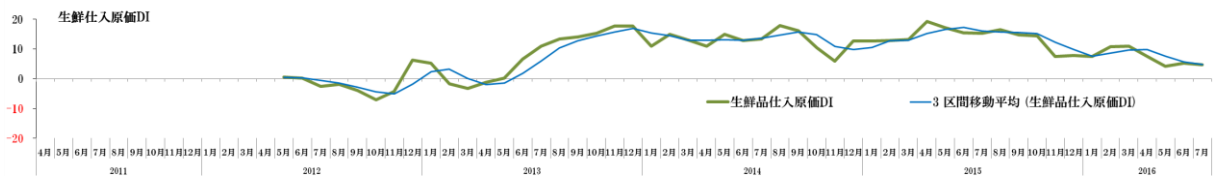
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	5.4	46.0	37.1	10.9	0.5	-11.3
来客数 (当月)	4.2	36.5	42.9	15.3	1.1	-6.9



6. 生鮮仕入原価 DI

ゆるやかな下降傾向が継続

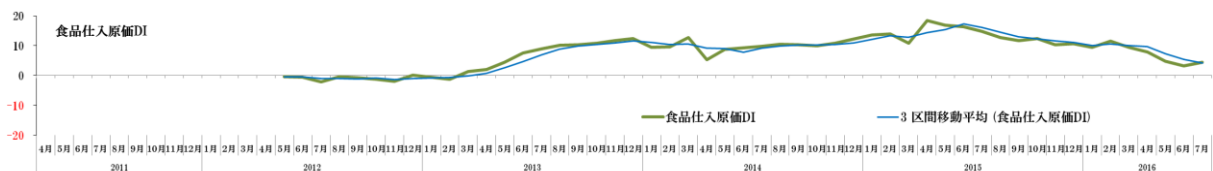
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	11.2	56.3	30.5	1.5	5.3
生鮮仕入原価 (当月)	0.5	8.1	65.6	23.1	2.7	4.8



7. 食品仕入原価 DI

当月小幅に上昇するも、ゆるやかな下降傾向が継続

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.0	9.1	66.0	23.4	0.5	3.3
食品仕入原価 (当月)	0.0	7.0	69.9	21.5	1.6	4.4

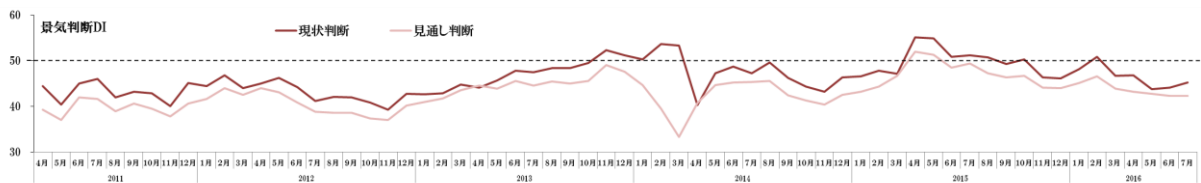


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月から変わらず

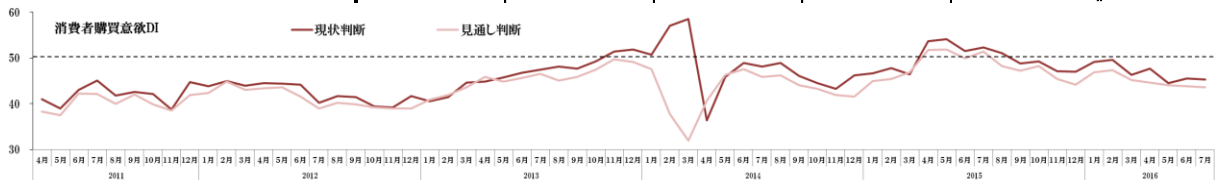
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.0	28.7	63.4	6.9	0.0	44.1
【現状】景気判断 (当月)	2.6	23.8	63.5	10.1	0.0	45.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.5	30.8	61.7	5.0	0.0	42.3
【見通し】景気判断 (当月)	3.1	30.7	59.9	6.3	0.0	42.3



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断とも前月とほぼ同水準

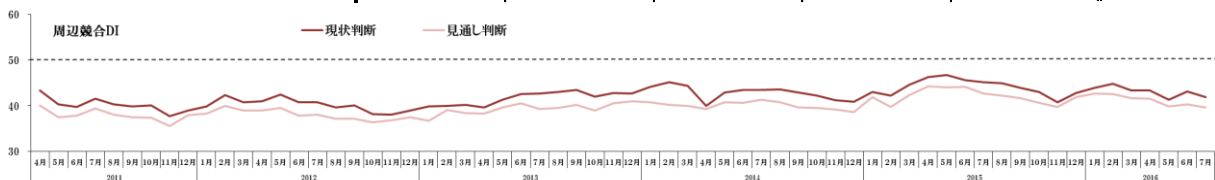
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	24.3	69.3	6.4	0.0	45.5
【現状】購買意欲 (当月)	0.5	23.0	71.2	5.2	0.0	45.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	28.7	67.3	4.0	0.0	43.8
【見通し】購買意欲 (当月)	0.5	28.1	67.7	3.6	0.0	43.6



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に小幅に悪化

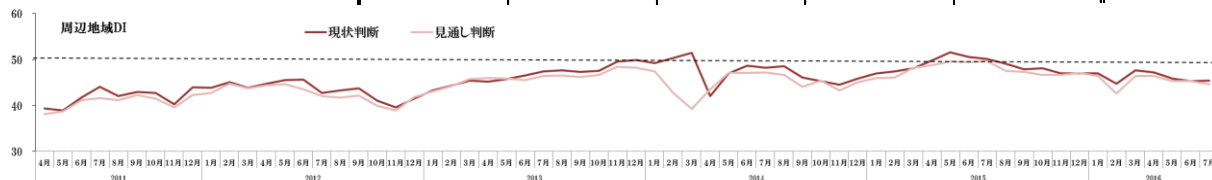
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	1.0	27.2	70.3	1.5	0.0	43.1
【現状】競合状況 (当月)	3.7	26.7	68.6	0.5	0.5	41.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	3.0	33.7	62.4	1.0	0.0	40.3
【見通し】競合状況 (当月)	5.2	32.8	60.4	1.6	0.0	39.6



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は横ばい、見通し判断は小幅悪化

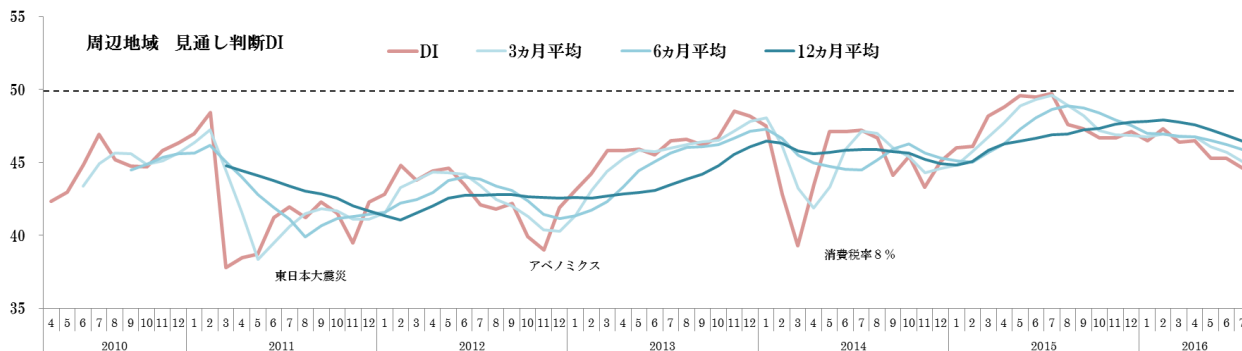
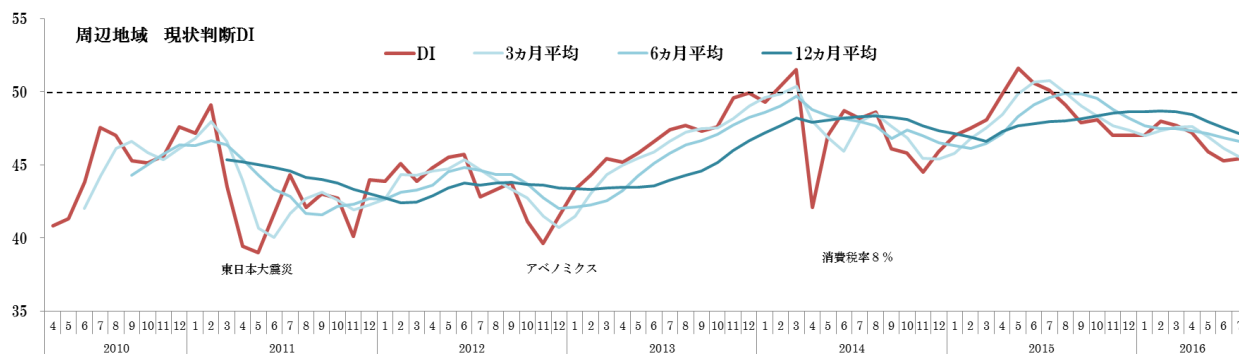
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	19.8	79.2	1.0	0.0	45.3
【現状】地域景気(当月)	0.0	20.0	78.4	1.6	0.0	45.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	19.3	80.2	0.5	0.0	45.3
【見通し】地域景気(当月)	0.5	22.6	74.7	2.1	0.0	44.6



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントレンドが一層鮮明となっている。直近6月、7月は横ばい水準での推移となり、一旦下げ止まりを見せている。

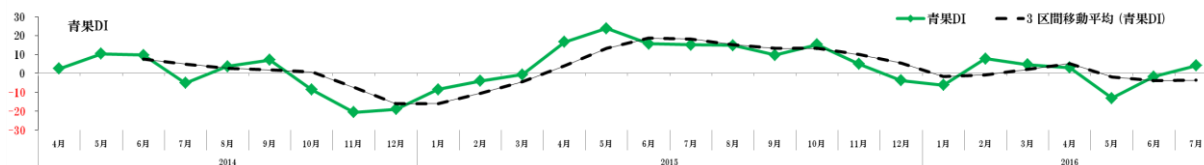
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、引き続き、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：4.1（やや好調）

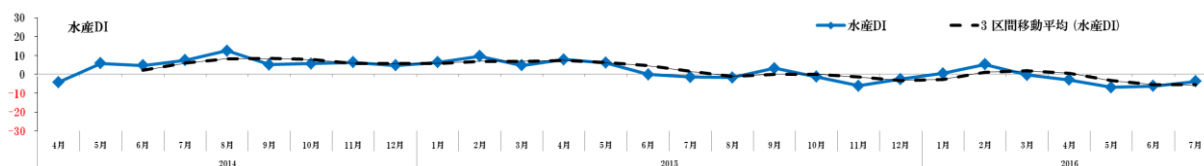
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	3.1	33.7	34.2	24.9	4.1	-1.7
青果（当月）	1.1	25.7	35.2	31.8	6.1	4.1



青果相場は全体としては安値傾向であったが、果物類は国産果物を中心に高値で推移した。気温の上昇によりサラダ商材（トマト・きゅうり等）やカット野菜が好調となった。薬物野菜は相場低下の影響を受けて低迷した。玉ねぎは品薄で高騰しており、好不調分かれている。果物は国産、輸入品とも全般的に好調となっており、特にキウイフルーツが好調、スイカやブドウ、桃やカットフルーツも好調とのコメントが多くみられた。

2. 水産DI：-3.8（やや不調）

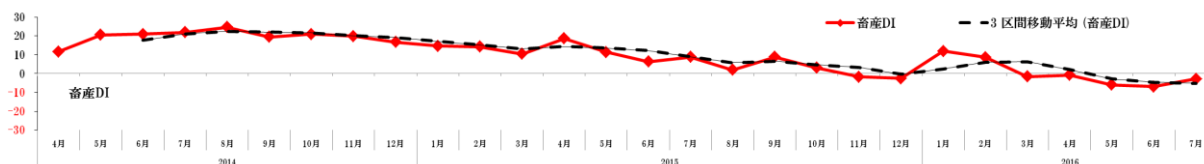
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	6.2	37.8	34.2	18.1	3.6	-6.2
水産（当月）	6.7	32.8	33.3	23.3	3.9	-3.8



入荷不足と価格の高騰によりカテゴリー全体ではやや不調となった。土用丑の日は土曜日となり、国産うなぎ価格の高騰により好調とのコメントが多いが、一部では伸び悩んだ店舗もみられた。刺身類が引き続き好調となっており、特に価格が下がったまぐろが好調となった。サーモン、かつお、タコが好調とのコメントが多かった。

3. 畜産DI：-2.8（やや不調）

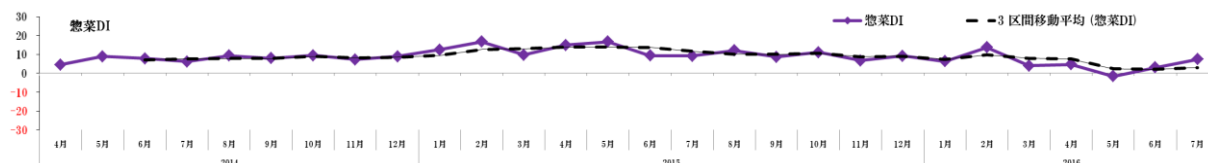
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	6.7	37.3	33.7	21.2	1.0	-6.9
畜産（当月）	4.4	34.3	33.7	23.2	4.4	-2.8



土・日曜日が一回多い曜日めぐりも追い風となったが、牛肉の相場高が続いているため、国産から輸入牛に需要のシフトがみられ伸び悩みをみせた。気温の上昇とともに焼肉用商材、冷しゃぶ用の豚肉が好調とのコメントが多い。鶏肉も前年に比べ相場が低下しているため単価が低下傾向にあり、価格競争も激しくなり不調とするコメントが多くみられた。

4. 惣菜DI：7.4（やや好調）

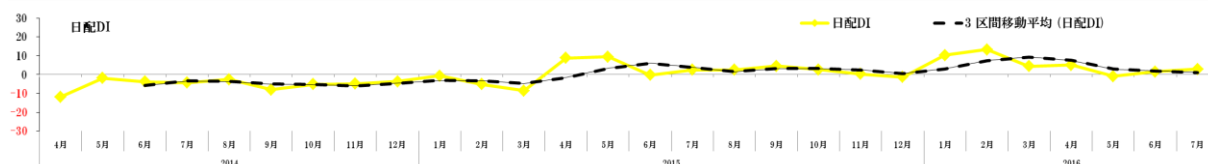
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	5.7	18.2	38.5	32.8	4.7	3.1
惣菜（当月）	4.5	13.5	36.5	38.8	6.7	7.4



土・日曜日が一回多い曜日めぐりで来客数が増加したことを追い風にやや好調となった。土用丑の日に合わせたうなぎ弁当が好調とのコメントが多い。気温上昇と共に涼味商材の動きがよくなり、揚物などが苦戦した。猛暑となった地域では、家庭調理を敬遠する傾向もみられて売上を伸ばした店舗があった。献立や調理方法を見直し、成果をあげているとのコメントもみられた。

5. 日配DI：2.9（やや好調）

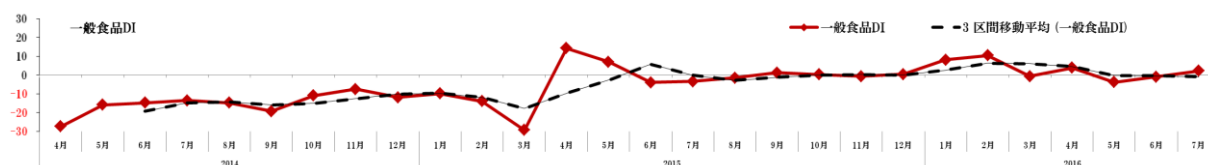
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.6	19.7	44.6	31.1	1.0	1.6
日配（当月）	4.4	19.9	39.8	31.5	4.4	2.9



土・日曜日が一回多い曜日めぐりで来客数が増加したことを追い風にやや好調となった。カテゴリ内の動きは、ほぼ前月と同様の傾向となっている。気温が高くなった影響で、涼味関連商材（アイスやデザート、麺）などが比較的好調となった。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調であり、パンについては好不調分かれる判断になっている。

6. 一般食品：2.1（やや好調）

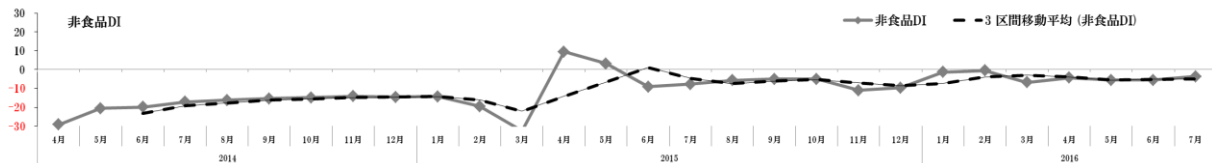
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.7	25.9	39.9	28.0	1.6	-1.0
一般食品（当月）	4.5	19.7	43.8	27.0	5.1	2.1



土・日曜日が一回多い曜日めぐりで来客数が増加したことを追い風にやや好調となった。気温の上昇により、アイスや飲料、アルコール類などの涼味品については好調となっている。乾麺やつゆなども動きがよい。米については前年に比べ単価が上昇しており、回復傾向をみせている。一方で競合との価格競争が厳しいとの指摘も多い。

7. 非食品 DI：-3.7（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	8.0	29.9	43.3	13.9	4.8	-5.6
非食品（当月）	7.3	28.8	41.2	16.4	6.2	-3.7



気温の上昇とともに住宅用洗剤や殺虫剤などの季節商材の一部に動きがよくなっているものが見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。値上げされたタバコが引き続き不調とするコメントが多くみられた。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年8月調査（7月実績）キーワード TOP3

1. 曜日めぐり（土日が一回多い）による来客数増加
2. 天候要因（台風なし、気温上昇）
3. 地域振興券の反動

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 192 社
 6月実績確報版 203 社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp